

キャンパス / Campus	宇都宮キャンパス / UTSUNOMIYA	
科目名 / Course Title	国際交流論 1 / International Communication 1	
担当責任者 / Instructor	林 春	
開講期 / Semester/Term	前期 / SPRING	
履修年次 / Target Grade	1,2,3,4	
単位数 / Credits	2.0	
分野・必修選択別 / Category/Required or Elective	基礎分野選択, 総合基礎科目選択 選択 / Elective	
科目ナンバー / Course Number	IHR1-03003	
ディプロマポリシー、修得目標との関連 / Diploma Policy/Learning Outcome		
授業の概要 / Course Description	日本社会で暮らす人々の多様化が急速に進んでいます。異なる国や人から様々な考えや価値観を積極的に受け入れ、理解することで、国際感覚あふれる人間に成長することが、私たち一人ひとりに求められています。このような国際的人材の育成はグローバル化社会において急務の課題です。このような背景を念頭に置きながら、本講義では、異文化とコミュニケーションの関係について様々な視座から学びます。また、第14回はグループでポスター発表を行います。なお、この授業では総合基礎科目の学修目標 1、2、3 に関する知識、技能、態度を修得します。	
授業の到達目標 / Course Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流と異文化について、理論と実践を通して理解し、国際的な感覚および能力を身につけ、国際問題の多面的な捉え方を身につけられるようになります。 ・ 国際問題の理解と解釈に対する論理的評価ができるようになります。 	
成績評価の方法および基準 / Method of Evaluation	方法および基準 / Method of Evaluation	レポート / Report(s) 50 % プレゼンテーション / Presentation 20 % リアクションペーパー / Reaction Paper 30 %
	その他コメント / Comments	100点満点で60点以上を合格とします。
試験・課題に対するフィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments	フィードバック方法 / Method of Feedback on Exams and Assignments	授業内で解説を行う / In-Class Feedback、試験やレポート等について添削し返却する / Returning Exams and Assignments with Feedback
	その他コメント / Comments	
授業形態 / Course Style	講義 / Lecture	
この授業におけるアクティブ・ラーニングを実現するための教育手法 / Active Learning Method in Class	手法 / Active Learning Method in Class	グループワーク / Group Work、ディスカッション、ディベート / Discussion, Debate、プレゼンテーション / Presentation
	その他コメント / Comments	
授業におけるICTの活用 / Use of ICT in Class	自主学習支援 (e-learning (LMS等) を活用) / Self-Study Support (Use of e-learning (LMS, etc.))	
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間 / Study Required Outside of Class	<ul style="list-style-type: none"> ・ テキストの関連部分を事前に予習するようにしてください。また、授業中に学習した内容をまとめた後、自分の考えや意見などを述べ、感想文として提出してください。(時間の目安: 合計2時間) ・ そのほか、プレゼンテーションなどに向けての資料調査・作成や、期末レポートに向けての復習などに1学期合計30時間程度の時間を割いてください。 	
教科書 / 参考資料 (図書・映像) / Textbooks and Reference Materials	教科書: 『異文化理解入門』, ISBNコード (978-4-327-37734-2) 著者: 原沢伊都夫 発行所: 研究社	
その他履修上の注意点 / Notes	<ul style="list-style-type: none"> ・ LMSを使用します。 ・ 授業のスケジュールは、進み具合やクラスの状態等により、内容が変更になる場合があります。 ・ 授業中にプレゼンテーションやミニポスター発表を行いますので、それと関連する資料を調べたうえで、真剣に発表と質疑応答に取り組むことが求められています。 ・ 第14回のミニポスター発表については、新型コロナウイルス感染症等の状況により、変更される可能性があります。 ・ 情報電子工学科を対象とするクラスにおいて、この科目はJABEE対応プログラムの必修科目 (選択必修科目)、学習・教育到達目標中項目1-1に対応する科目となります。 	

実務経験のある教員による授業 / Instructor's Practical Experience		
その他外部資料等	外部資料1 / File1	
	外部資料2 / File2	
	外部資料3 / File3	
	その他コメント / Comments	

授業計画詳細 / Course schedule

曜日・時限・組 / Day・Period・Class	担当教員 / Details of the instructor	学習内容・行動目標 / Content of study・Goal to act	備考 / Notes
第1回	林 春	オリエンテーションを行う。 担当者自己紹介、授業概要及び評価方法を説明する。 予習の内容は、授業中に指示する。	
第2回	林 春	文化交流史について概説する。	
第3回	林 春	文化の概念や特徴（その1）について学ぶ。	
第4回	林 春	文化の概念や特徴（その2）について学ぶ。	
第5回	林 春	異文化適応について学ぶ。	
第6回	林 春	異文化の認識について学ぶ。	
第7回	林 春	差別について学ぶ。	
第8回	林 春	世界の価値観について学ぶ。	
第9回	林 春	異文化トレーニングについて学ぶ。	
第10回	林 春	異文化受容について学ぶ。	
第11回	林 春	自分を知ることについて学ぶ。	
第12回	林 春	非言語コミュニケーションについて学ぶ。	
第13回	林 春	アサーティブ・コミュニケーションについて学ぶ。	
第14回	林 春	多文化共生社会実現に向けての取り組みを具体的に考える。	
第15回	林 春	これまでの講義内容をまとめる。	